

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立喜連北小学校

令和7年4月

大阪市立喜連北小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

安全・安心な学びの場としての学校の構築に向け、自己肯定感が高まる教育活動の推進・機動性ある組織的対応・関係諸機関との緊密な連携・校内環境の整備等に注力してきた。少しづつではあるが、改善傾向がみられ、落ち着きのある安全・安心な学びの場になりつつある。さらなる改善に向けて、今後も継続的な取組が必要である。

国語・算数共に「全国学力学習状況調査」の平均正答率が、学年差はあるが全国平均正答率を下回っている。しかしながら、令和 5 年度は、国・算ともに全国平均正答率との差が縮まる等、漸次、改善傾向が見られた。

運動面では、日常的に運動している子とそうでない子との差があることが大きな課題となっている。テストにおいて、令和 5 年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、男子は運動量も多く大阪市平均を超える種目が多数あった。しかしながら、女子については全体的に運動量が少ない傾向にあった。

学校現場におけるデジタル化は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全国的に加速された。本校においても授業をはじめとする学びや生活の中で学習者用端末等を活用する場面が急拡大した。今後は、より効果的な活用の仕方を先行実践から習得していく必要がある。

「教員の働き方改革」については、令和 5 年度においては、時間外勤務平均時間が校種別の大坂市平均時間とほぼ差異はないが、個人差が大きく、その改善が本校喫緊の課題である。令和 6 年度、少し改善は見られたが、まだ十分でない。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 95% 以上にする。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。
- ・令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の改善の割合を令和 3 年度より増加させる。
- ・令和 7 年度末の児童アンケートで「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。
- ・令和 7 年度末の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。
- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和 7 年度の本市独自調査、「授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数」が年間授業日の 75%以上にする。
- ・令和 7 年度末の本市独自調査において、第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 ※を満たす教職員の割合を 48%以上にする。

※基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下

- ・令和 7 年度の小学校経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。 【R3 83.3% R4 87.4% R5 84% R6 99.25%】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。 【R5 81.4% R6 85.8%】

- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【R3 0.86% R4 1.76% R5 4.45% R6 5.38%】

- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。 【R4 79.9% R5 79.8% R6 75.1%】

- ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。 【R5 94.65% R6 95%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 70%以上にする。 【R3 32.5% R4 31.8% R5 36.8% R6 42.1%】

- ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。

【 国語の経年比較	R5 4年	+3.7p	R6 4年	+1.4p
R4 4年	+0.05 p	5年	+1.4p	5年
5年	+0.05 p	6年	-5.3p	6年

- ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。

【 算数の経年比較	R5 4年	+4.0 p	R6 4年	+2.6p
R4 4年	+0.06 p	5年	+0.1p	5年
5年	+0.06 p	6年	-1.8p	6年

- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。 【R3 56.5% R4 70.4% R5 69.5% R6 77.6%】

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数が年間授業日の 60%以上にする。【R6 0.6%】

- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 ※を満たす教職員の割合を 48%以上にする。

【R4 51.72% R5 55.17% R6 72.41%】

※基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下

- ・小学校経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 【R5 62.1% R6 69.9%】

大阪市立喜連北小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。 【R3 83.3% R4 87.4% R5 84% R6 99.25%】 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。 【R5 81.4% R6 85.8%】 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 【R3 0.86% R4 1.76% R5 4.45%】 ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。 【R4 79.9% R5 79.8% R6 75.1%】 ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上にする。 【R5 94.65% R6 95%】 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「いじめを許さない学級・学校づくり」を理念とし、子どもたちがお互いによく理解し合い、相手の立場に立って考える機会を多く設定する。</p> <p>また、全ての子どもが自他の尊厳を認め合い、好ましい人間関係や教職員との信頼関係を確立できるような集団づくりに努める。</p> <p>常に、いじめや問題行動の早期発見に努め、個々のケースに対して、生活指導部を中心に、教職員間の連携を図ると共に関係諸機関との連携を密にするなどして、状況に応じた多様な対応を行う。</p> <p style="text-align: right;">(いじめへの対応)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護当番は週のうち 1 日は運動場へ出て見守り、事故防止に努める。 ・いじめアンケートを学期に 1 回実施する。（低学年は紙媒体でもよい） ・いじめ対策委員会等の場で、関係諸機関（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・区役所・子ども相談センター）との連携が必要と判断した場合、管理職は速やかに、関係諸機関に連絡する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>係活動、当番活動、委員会活動など、様々な行事を通して自己有用感を高める事が出来るような機会を設ける。また、クラスでいいとこ見つけを学期に一回以上設置することで、互いのいいところを認め合えるようにする。さらに、こころの天気などの</p>	

手段を用いて、児童理解に努めるようとする。

(道徳教育の推進)

- 指標
- ・クラスでいいとこ見つけを学期に1回以上は設定する。
 - ・係活動、当番活動、委員会活動、行事などを実施する。
 - ・こころの天気などを活用し、児童理解につなげる。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取り組み内容①】

【取り組み内容②】

次年度への改善点

大阪市立喜連北小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 70%以上にする。 <p style="text-align: center;">【R3 32.5% R4 31.8% R5 36.8% R6 42.1%】</p> ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。 <p>【 国語の経年比較 R5 4年 +3.7 p R6 4年 +1.4 p R4 4年 +0.05 p 5年 +1.4p 5年 -3.4 p 5年 +0.05 p 6年 -5.3p 6年 -3 p】</p> ・小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より 0.3 ポイント向上させる。 <p>【 算数の経年比較 R5 4年 +4.0 p R6 4年 +2.6 p R4 4年 +0.06 p 5年 +0.1p 5年 -3.3 p 5年 +0.06 p 6年 -1.8p 6年 +1.2 p】</p> ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。 <p style="text-align: center;">【R3 56.5% R4 70.4% R5 69.5% R6 77.6%】</p> 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】・・・研究 国語科を研究教科として取り組むことを通して、教員一人一人のさらなる授業力の向上を図る。</p> <p style="text-align: right;">（「主体的・対話的で深い学び」の推進）</p>	
<p>指標 国語科の研究授業・研究討議会を年 6 回行う。国語科の研修を 2 回以上行う。</p> <p>取組内容② 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】・・・国語 <u>国語科の学習において、視写に取り組むことを通して、漢字を書く力を高める、文章表現力を高める、語彙力の向上を図る。</u></p>	
<p>指標 <u>月に 1 回程度、視写に取り組む。</u></p> <p>取組内容③ 【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】・・・算数 ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりや、個に応じた支援を実施する。児童が落ち着いて学習に取り組むことができるような環境整備をする。</p>	

指標　・学期に1回算数科において単元ごとに教材・教具（データも含む）の点検・整備を行う。

取組内容④【基本的な方向5、健やかな体の育成】

委員会等で子ども達が運動やスポーツに楽しく参加できる取組・企画を工夫し、計画実施するなど、運動やスポーツに親しむ機会を確保する。

(体力・運動能力向上のための取組の推進)

指標

- ・ボールや一輪車などの道具及び遊具の環境整備を委員会や体育部、管理作業員と連携して行う。
- ・学校全体で取り組める運動やスポーツを計画し、学期に1回以上開催する。
- ・月1回の清潔調べを行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取り組み内容①】

【取り組み内容②】

【取り組み内容③】

【取り組み内容④】

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立喜連北小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数が年間授業日の 80% 以上にする。 【R6 0.6%】 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 ※を満たす教職員の割合を 48% 以上にする。 <p style="text-align: center;">【R4 51.72% R5 55.17% R6 72.41%】</p> <p>※基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。 <p style="text-align: center;">【R5 72.17% R6 69.9%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX の推進】</p> <p>個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて ICT 教育を推進する。また、ICT 機器の活用による子どもの生活や心の状況を可視化することを通して、経年的・客観的に子ども理解を図る。そのため、教職員のスキルアップも図る。</p> <p style="text-align: right;">(ICT を活用した教育の推進)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツ（心の天気・ロイロノートやタブレットドリル・デジタル教科書など）を毎日活用する。 ICT 活用に関する情報を学期に 2 回提供する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>原則全員 18:30 を最終退勤時間とし、仕事に対する改革・改善の視点で前例踏襲ではなく、様々な取り組みを積極的に見直す。SSS の活用もさらに進める。また、「ゆとりの日」を週 2 回設定を目標とし、うち 1 回は全員が 17:40 退勤とできるようにする。</p> <p style="text-align: right;">(働き方改革の推進)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数を全教職員が 5 月以内とする 	
<p>取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <p>読書環境の充実により、読書活動の活性化を図る。朝の読書タイム・図書館開放・ボランティアの方による「おはなし会」などの「読み聞かせ」等を推進する。また、書物の充実にも取り組み、図書館内の環境整備等もすすめることにより、調べ学習の習慣化など、読書好き・読書活動に積極的な姿勢をもつ児童の育成に努め、読書の習慣が身に付くようにする。</p> <p>また、平野区より全校の子ども達に配布された「読書ノート」も活用することで、子どもの主体的な学習意欲を育成する。</p>	
	(学校図書館の活性化)

指標 小学校経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取り組み内容①】

【取り組み内容②】

【取り組み内容③】

次年度への改善点